

かわさき 議会の情報

No.204

発行日 / 平成28年10月31日
発行 / 川崎町議会
編集 / 議会広聴・広報委員会



「川崎べこ太郎」

「走れ!かわさきっ子」

26P

研修レポート
編集力向上求めて

12P

町政を問う

9議員

4P

H27決算承認も
社会保障費高水準

2P

要望決議
町づくりに活かせ



町づくりに活かせる 重点6項目 9月会議

**要望
決議**

議会から 町当局へ

9月会議は、9月6日から15日までの会期で開きました。

平成27年度一般会計と特別会計・企業会計の7会計について決算審査特別委員会を設置し、集中審議の結果、すべての会計を原案のとおり認定しました。

また、認定することについて要望決議を提出しました。

一般質問では9人が町政^{ただ}を質しました。



**基幹
産業**

農林業は基盤整備の充実を図り、災害に対応できるよう改善を望む。また、農林業振興策についても、さらなる取り組みを図りたい。



**財源
確保**

税の公平性や町財政の貴重な財源である町税については、徴収方法の改善などを図り、徴収率県下最下位を脱出するよう努力されたい。



有効設置

町の観光資源のPRと、国道286号バイパス工事が早期に完了するように、有効的な看板設置を望む。



健康生活

町民健(検)診事業や保健指導によって医療給付費が抑制されているので、今後も継続的に取り組みを充実されたい。また、職員の健康面の管理徹底と、さらなるスキルアップのための研修参加を望む。



課題解消

町営住宅建設にあたり、滞納対応の厳格化と公営住宅の目的にそった運営を望む。



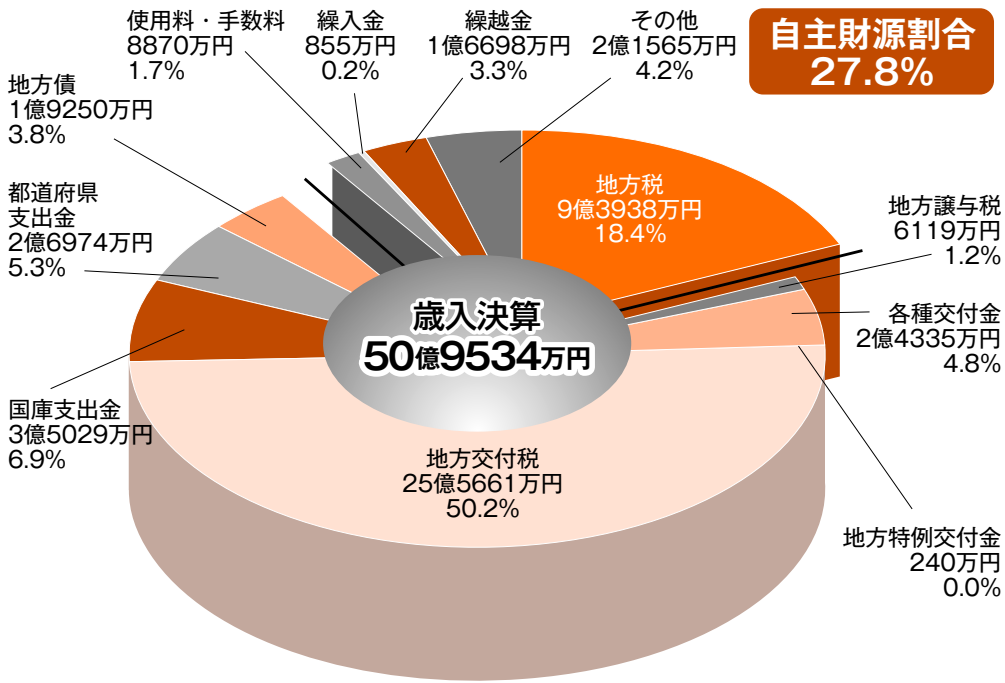
医療拠点

国保川崎病院の収支については改善され努力しているが、地域医療の拠点である意識を持ち、町民に親しみのある企業経営を望む。

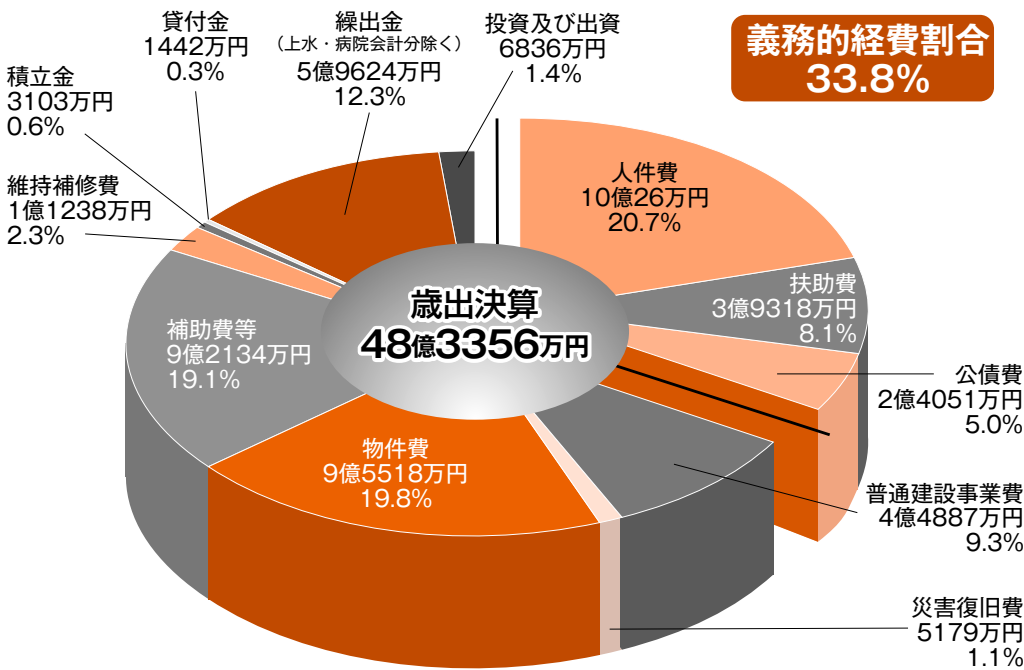
9月 会議

一般会計

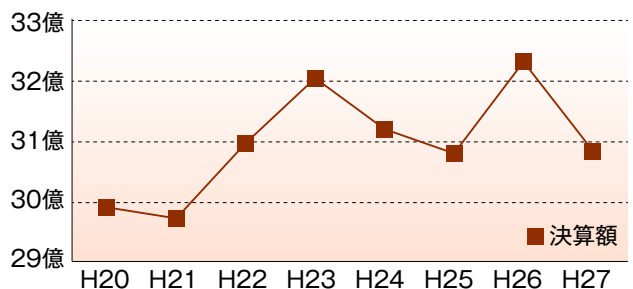
自主財源確保課題



- 1 **税改正**によって前年度より209万円減少しました。
- 2 **地方交付税**は1億7972万円増加しました。

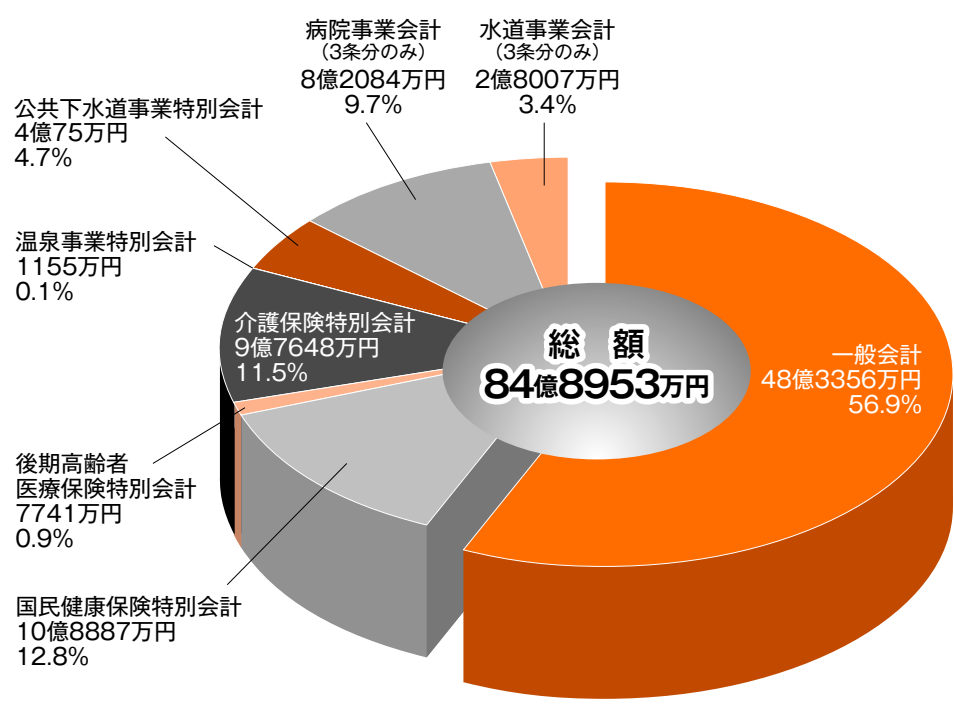


社会保障関連費の推移



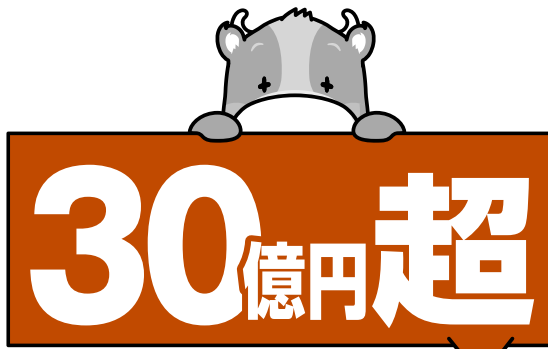
高水準

平成27年度
決算
総額
84億8953万円承認も



- 1 **民生費・扶助費**が高水準に推移し、一般会計・特別会計の社会保障関連費で30億8215万円となり、前年度と比べると1億4785万円の減少、6年連続30億円以上の決算となっています。
- 2 **一般会計の操出金**は5億9624万円ですが、特別会計・企業会計合わせると、決算額の24.7%を占めています。
- 3 **高齢化**に伴い、後期高齢者医療、介護サービス給付費が増加しました。
- 4 **病院事業会計**は、訪問医療や病床変更などから入院患者数の増加により、3962万円の赤字に抑制されました。

※ここでの社会保障関連費は、一般会計の民生費、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計を合算したものです。



社会保障関連費

決算審査特別委員会



佐藤 達也 委員長



平成27年度の各種会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く12人で構成する決算審査特別委員会での審査に付託されました。委員長に佐藤達也委員、副委員長に眞幡善次委員を選任し、一般会計、特別会計、企業会計について、3日間 にわたって慎重に審議しました。主な質疑を紹介します。

自主防災組織を全町に

眞幡委員

問 地震に備え、自主防災組織づくりに全町で取り組んでは。

答 町主導でなく地域主導での設置を働きかけていきます。

消防団OBに協力を

佐藤(新)委員

問 消防団員が増えない。OBに協力の考えはありますか。

答 地域にとって大切なので、今後検討させていただきます。

給食に地産地消

大沼委員

問 給食に地産地消の取り組みは。

答 給食費の値上がりにもなるので、まずは一つの食材から検討していきます。

ダムカレーPR不足

大沼委員

問 ダムカレー開発には、どんな経緯で補助金を出したのですか。また、周知不足ではありませんか。

答 みちのく公園管理センターと町内の飲食店組合などから町に申請がありました。町内3店舗で提供していますが、PR不足もあると思うので考えていきます。

「常長の郷」大看板を

佐藤(新)委員

問 釜房大橋のたもとの大看板を、「支倉常長の郷」であることをPRするものにしたらいかがですか。

地域振興課

答 碁石の「支倉常長の墓所」の看板も小さい。PR効果が考えられるので検討していきます。

決算審査



学校跡地利用の進展は

眞幡委員

問 小学校の跡地活用について、その後の進展はいかがですか。

地域振興課

答 4校とも業者が決定し、企画の磨き上げ中です。年内に賃貸契約等を済ませ、来春4月から順次スタートを考えています。



観光施設の経費改善は

遠藤委員

問 町の観光施設の経費について、どう改善していきますか。

地域振興課

答 3施設を委託管理しています。スキー場はリフト設備修繕などに費用がかさんでいます。人命にかかわる事故がないことを最優先にして、計画に従って修繕していきます。



出演者の一般公募を

大沼委員

問 大崎市の「政宗公祭り」のように支倉常長まつりも出演者を一般公募したらいかがですか。

地域振興課

答 過去にも実施していますが、もっと多くの方に参加していただき、イベントが盛り上がるよう工夫していきます。



給食調理場の老朽対策

大沼委員

問 学校給食調理場が老朽化しています。対応は。

学務課

答 平成2年の建設で、機械設備も老朽化しています。今後建て替えなどを検討します。



スクールバスの規約は

高橋委員

問 スクールバス乗車に規約などがありますか。空席もあるようですが。

学務課

答 廃校の際に運行を約束した経緯があります。その他については検討すると言えません。



青根の開店補助対象は

生駒委員

問 青根温泉街の開店補助の対象2件と、駐車場トイレのバリアフリーが生きていないのではないのか、この2点を説明してください。

地域振興課

答 補助は一升瓶バーとラーメン店です。トイレは台風などで雨が入り込んだようです。現地を確認の上、バリアフリーについても検討が必要と考えています。

郷土芸能団体
補助増は

佐藤(新)委員

問 郷土芸能団体助成金を増やせませんか。

生涯学習課

答 4月1日付で要綱を施行し、衣装代と修繕費の2分の1を助成しています。



運営組合への支援は

眞幡委員

問 JA特産センターは土地賃借が来春切れますが、出店している運営組合への補助金の継続は。

農林課

答 補助は5年満期の最終年になります。多少の人的・金銭的支援をしていきます。



迷惑シラサギ対策を

佐藤(新)委員

問 シラサギがドジョウやカエルを食べ、稲を踏み荒らしている。対策はありませんか。

農林課

答 県の許可を受け、年4回の予察捕獲を実施したいと思えます。

支倉川改修が必要

神崎委員

問 支倉川の土砂堆積解消を国・県に要望する考えは。

建設水道課

答 秋保温泉・川崎線の滝見橋と併せて、(9月)21日に県土木事務所全面改修を要望する予定です。

コンビニ収納準備は

神崎委員

問 町指定金融機関の変更とコンビニ収納の準備は。

税務課

答 委託する電算と仙南信用金庫と9月の契約、29年度納付書発行へ準備を進めています。

透析設備の導入を

眞幡委員

問 川崎病院で透析治療はできませんか。

保健福祉課

答 設備や人員配置など初期投資が膨大で経費的に困難です。

慢性赤字解消の手立て

佐藤(昭)委員

問 病院赤字は3900万円。これは一般会計から2億5000万円の仕送りを受けてのこと。累積赤字は12億5000円に膨らみます。どんな解消策があるか伺います。

病院事務長

答 単年度赤字は3年計画で30年度ゼロを目指していますが、累積赤字は、2年ごとの診

査見 監意

自主財源確保に 一層の努力を

決算の特徴

歳入は前年度対比
0・1%の減で、前年
度と同水準となってい
ます。

歳入で主に増加した
科目は地方交付税で、
人口減少等特別対策事
業費の新設や、仙南ク
リーンセンター建設事
業に伴った負担金の一
部が交付されたことに
よるものです。

備設置事業や大雪被害
農業者緊急支援補助事
業の完了によるもので
す。また、公債費は地
方債発行の抑制によっ
て、平成20年度をピー
クに着実な減少を重ね
ています。

監査委員の意見

一般会計における歳
入において、町税が法
人税の減少に伴い前年
度比209万2000
円(△0・1%)の減
額となったものの、徴
収率は90・0%(前年
度比2・3%増)と前
年度より向上していま
す。これは、収納率向
上に努力した結果の表
れだと考えられますが、

県平均の徴収率96・
1%を目標に取り組ん
でください。

基金の繰入金は必要
な事業にのみ活用し、
かつ、積立金を奨励す
ることで、着実な財源
確保と計画的な負担軽
減対策を講じている状
況です。

収入未済額は年々改
善されているものの、
今なお一般会計で1億
1569万3000円、
特別会計で1億522
8万4000円となっ
ています。このことか
ら、町税等における徴
収対策の強化による自
主財源確保に一層努力
するとともに、経費の
節減と事務事業の効率
化を推進してください。

特別会計および企業
会計は、その経営状況

を分析し、各種会計が
長期的な視点で健全な
財政運営を進められる
よう努めてください。

特に病院事業会計に
は入院収益が大幅な増
収となり、例年と比較
し赤字額は減少してい
ます。今後とも安定し
た病院経営を行うため
に、安全で適切な医療
を提供できるよう講じ
てください。



▲9月5日、意見書提出

財政指標の状況

	H25	H26	H27	健全状況	指標の説明
経常収支比率	88.1%	89.6%	87.6%	改善	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直度が進んでいることを示します。
公債費負担比率	8.6%	7.2%	5.8%	健全	一般財源に占める公債費に充当された割合で、比率が高いほど、財政の硬直性の高まりを示します。
地方債現在高比率	52.8%	53.9%	49.6%	健全	将来、償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合を示します。
積立金現在高比率	61.1%	66.9%	67.7%	健全	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
将来にわたる 財政負担比率	61.1%	62.8%	59.5%	健全	将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。
財政力指数 H20:0.338	0.277	0.289	0.303	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

総括質疑

平成27年度の各会計決算は、各会計の概要説明があった後、決算認定に係る総括質疑が行われました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

最下位脱出は

佐藤(昭)議員

問 27年度の徴収率は、県内最下位を脱出しましたか。また、徴収率アップのための具体的な対策は。

税務課長

答 前年度より2.3%アップし90%で、県下最下位の状況です。現在、滞納整理本部で徴収率向上策や推進月間を設け、グループ編成により対応しています。また必要ときは、差し押さえなどの滞納処分をしています。

職員の健康管理状況は

神崎議員

問 職員の健康診断検査率は何%か。職員が健康でなければ町民のサービスはできないと考えますがいかがですか。

町長

答 定期的に通院している職員もいることから毎年92%〜95%で推移しています。職員は町の財産ですから、健康で働けるようサポートしていきたいと思っています。

町営住宅家賃滞納対策を

佐藤(新)議員

問 新たに造られる町営住宅は建築費が高額と聞いています。家賃滞納者にどのような説明をしているのか伺います。

建設水道課長

答 2戸1棟方式で一戸2000万円となります。平成26年度に入居者全員が集まっていただき、滞納がある方は入居できないむねを説明しました。従来の保証人方式の見直しを行い、家賃滞納がないようにしていきたいと考えています。

3割引き宿泊券を

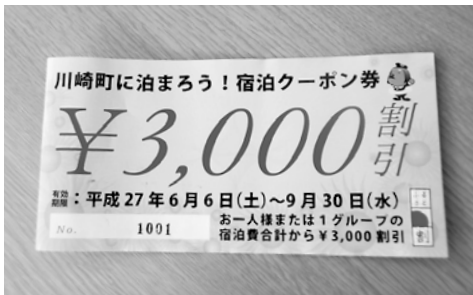
継続する考えは

眞幡議員

問 3割引き宿泊券を町独自で継続し町内の人に利用してもらい、青根の良さを再認識してもらおうことが青根温泉の活性化につながるかと考えますが。

町長

答 町にあるものを認めたり、その価値を高めていく努力をしなければなりません。その方向で進めていけたらと思います。



地方創生事業規模は

佐藤(昭)議員

問 地方創生事業の取り組みは、川崎の輝きを増すと考えます。27年度の金額は。

地域振興課長

答 合計4645万円の全額補助で、青根のトイレや駐車場整備などに使用しました。



シルバー人材センターの設立を

石野議員

問 シルバー人材の組織設立について、どう考えていますか。

町長

答 今回の地区懇談会でも意見があり、シルバー人材センターは必要と感じています。来年度予算にどのような反映したら良いか考えているところです。

早期完成の看板を

石野議員

問 国道286号は28年度に着工となつていますが、「めざそう早期実現」の看板表現を、ほかの内容に変更したかどうか。

町長

答 その時々々の状況によって、内容を変えていくべきと思つていきますので、考えていきます。

H27 計画は成果は

町税を増やす対策は

大沼議員

問 町税が減少傾向にあります。自主財源を増やす対策を伺います。

町長

答 人に住んでもらうことです。そのためには、少子化対策や企業誘致条例を活用した働く場の確保を講じることをだと思えます。

農業振興に力を

神崎議員

問 基幹産業である農業振興にもう少し力を入れたいと、町の発展が望めないと思えますが。

町長

答 平成28年度は、人口減少や産業振興の充実という事で予算組みをしました。平成27年度の決算を踏まえ、十分考慮しながら来年度の予算編成に入っていくかと思えます。

病院事業健全化は

大沼議員

問 病院事業会計の健全化を図るための具体策を伺います。

町長

答 副院長の2人体制導入や訪問診療、接遇改善患者本位の開かれた体制をつくっていくことだと思っています。

医師定着化の動きは

石野議員

問 ドクターバンクの医師は短期間とのことなので、東北大や自治医大から派遣してもらうことが必要と考えますがいかがですか。

病院事務長

答 東北大には要請をしています。被災沿岸部優先の状況下で、1人はドクターバンクを利用しています。期間が終わった段階で、勤務医での継続をお願いしているところです。

健(検)診の充実を

眞幡議員

問 住民の健康管理を考えると病気になつてからではなく、病気になるための予算措置が必要と考えますが。

病院事務長

答 予防医学ということで、健(検)診などに力を入れたりすることが必要です。その後のフォローも必要なので優れた健(検)診制度をつくっていかねばならないと思えます。





◆ 佐藤 昭光 議員 13

- (1) 不登校対策
- (2) いじめ対応
- (3) るぽぼかわさきの指定管理

◆ 神崎 安弘 議員 14

- (1) 町民バス運営方針
- (2) 旧支倉小学校校林の利用と対応

◆ 遠藤 美津子 議員 15

- (1) 子ども医療費助成
- (2) ドクターヘリ

◆ 大沼 大名 議員 16

- (1) 空き家対策の取り組み

◆ 的場 要 議員 17

- (1) 交流人口増加への取り組み
- (2) まちづくり懇談会

◆ 石野 博之 議員 18

- (1) 障害者差別防止法施行後の対応
- (2) バリアフリー条例の制定

◆ 佐藤 新一郎 議員 19

- (1) 要望はどうなったのか
- (2) 名誉町民

◆ 高橋 義則 議員 20

- (1) 子ども医療助成拡充
- (2) 消防演習、防災訓練

◆ 眞幡 善次 議員 21

- (1) 釜房湖周辺の自然を活かせ
- (2) 公園等に健康遊具設置を

9人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

問

不登校・いじめは改善されたか

答

万全を期し関係者が緊密に連携

平成26年9月会議の一般質問で、県内の小学生の不登校率は全国16位と上位にあり、さらには中学生は2年連続ワースト1との指摘がありました。それから丸2年。県内は改善が見られません。

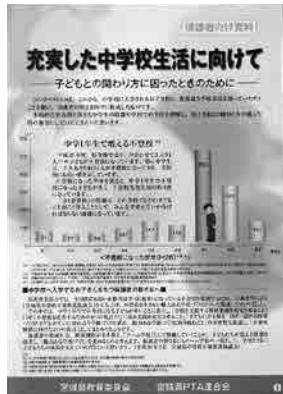
問 県内の児童生徒の不登校では「中1ギャップ」が問題視され、1年生が中学校全体の半分余、小学校も1年生が一番多い。心の敏感な時期の急な環境変化が要因と見られます。そこで、町内の実情について伺います。

答 教育長
町内は、7月末で小学生1人、中学生6人の計7人。別室学習な

ど、県・町・家庭が緊密に連携し万全の対応を心がけています。

問 いじめは自殺して初めて発覚するなど、最悪の事態を招きかねません。国は、発覚次第「重大事態」として報告するよう県や市町村に、義務付けています。町の対応を伺います。

答 教育長
27年度のいじめ認知は中学校で2件。すでに解決しています。いじめをしない、させない、許さない方針を徹底し、安心して学校生活を送れるようにします。



▲保護者向けパンフレット

問

「るぽぽ」契約解除、どう対応

答

指定管理を継続、来春オープン



▲再スタート予定の、るぽぽかわさき

問 平成24年度から「るぽぽかわさき」を運営してきた株式会社まるみつが、8月末で契約解除となりました。今後、どうしていくのか伺います。

答 町長
指定管理方式で経営を継続したい。順調に事業者が決まるとして3か月ほどかかります。再開は来年4月にずれ込むかもしれません。

問 現在の指定管理料は650万円。事業者は大変な努力をされています。指定管理者選定にあたって、どう対応するのか伺います。

答 町長
指定管理者選定にあたっては、広く募集したい。スキー場の指定管理者が一体経営を望むのであれば、応募してほしいと思います。

問 地元発展の起爆剤にと、土地買収に応じた方々が、今度の事態に心を痛めている。夢を壊さない対応を望みます。

答 町長
初期の目的だったので、町民に喜んでいただけよう努めていきます。



佐藤 昭光 議員

問

町民バス運行の考え方

答

地域公共交通として継続



神崎 安弘 議員

町民の足として平成13年に運行開始して14年が経過しました。運営に関して、今後も財政負担が避けられない状況にあります。

問 乗車料金改定の考えはありますか。

答 町長

町民バス運行費の決算額における利用料金は5%程度であり、ほぼ町負担の運営となっています。利用者は、小・中学生及び高齢者が大半で、無料乗車数が68%を占めています。以上のことから利用者にとさらなる負担を求め

る状況ではないと考えています。

問 当初目的の町商店街活性化への対応はどう考えていますか。

答 町長

通学や通院利用者が多いと考えますが、商店街での買い物、役場および金融機関を目的とする利用も考えられることから、町中心部に停留所を設置するとともに、町内循環路線2便を運行しています。

問 運行経路の見直しを含め継続していく考えですか。

答 町長

これまでの利用状況を踏まえ、現在9路線1日あたり40便の運行体制となっています。財政負担は伴いますが、地域公共交通として重要なことから継続していきます。

問

旧支倉小学校林・施設利用は

答

樹木保育・地域住民と検討

平成2年度より、学校林整備事業および中山間集落機能強化等促進事業で取り組み植樹や校外学習などで利用してきました。平成24年小学校の統廃合以降活用されていません。

問 トイレ、流し台、あずまやなど施設がありますが、活用見込みはありますか。

答 町長

活用見込みはありません。今後は地域住民とも検討を重ねながら、活用を進めたいと考えていきます。

問 植樹された樹木管理をどのように考えていますか。

答 町長

町所有となつていきますので、計画的に除伐や間伐などの保育を行い管理していきます。



▲旧支倉小学校林とあずまや

子ども医療費助成拡大を

財政状況を踏まえ検討

問 宮城県は通院費助成の対象年齢を引き上げることを決定しました。町として拡大しては考えますが。

答 町長 18歳まで拡充の場合、県の拡充分を差し引いても約380万円の新たな財源を確保する必要があります。長期的な財政状況も踏まえ検討します。

問 所得制限に関しての考えを伺います。

答 町長 他の政策と対比してそれを充実にさせていくべきか、検討できる時間をいただきたいと思います。



遠藤 美津子 議員

ランデブーポイントは何か所か

10か所となっている



▲導入されたドクターヘリ

緊急医療用ドクターヘリが宮城県で運行を開始します。以下3点について伺います。

問 ランデブーポイント^{*}を何か所予定しているのか伺います。

答 町長 川崎町総合運動場、笹谷分校跡地、第二小学校、元青根分校、前川小学校、旧支倉小学校、富岡中学校、富岡小学校、旧川内小学校、川崎中学校の各グラウンド10か所です。

問 多くのポイントを設置するため、住民からの推薦も受け付けてはと思いますが伺います。

答 町長 空白域については、今後ポイントの設置を要望していきます。土地の利用承諾について、お願いする場合には、ご協力をお願いしたいと思っています。

問 なぜ本砂金地区が入っていないのか伺います。

答 総務課長 選定の上で、高圧鉄塔電線関係でランデブーしにくい場所という答えでしたが、空白地をなくすためにも要望していきます。

問 町民への周知とドクターヘリの活動について理解を深めるため看板を設置してはどうでしょうか。

答 町長 住民への周知を図り、看板の設置については、県や土地所有者等の関係もありますので検討していきます。

問 安全確保への協力体制について伺います。

答 総務課長 要請があれば、仙南広域と連絡を取りながら調整したいと思えます。

※ドクターヘリ離着陸場

問

空き家活用于ーム編成を

答

検討委員会で柔軟に対応



大沼 大名 議員



▲空き家が変身(巨理町中町カフェ)

空き家バンク以外に、町として今後どのようなことに取り組めば、よりホットな町並みの維持や「ミニコミュニティ」の形成に寄与するかどうかを、総合的に取り組む必要があると考えます。

問 各課から若手職員数名選出し、空き家・空き地活用于ームをつくり、さらなる強化をする考えはありますか。

答 町長 空き店舗や空き地の利活用も将来の大きなテーマです。

庁内で新たに組織するのではなく、まちづくり各種事業等内部検討委員会で調整しながら進めていき、課題によって柔軟に対応します。

問 町内の各事業者や専門業者も含めた空き家対策などの協議会をつくり、充実を図っていく考えはありますか。

答 町長 町としては、関係事業者との協議会の設置については、必要性を含めて、まだ具体的に私も担当者もイメージするに至っておりませんので、時間をいただきたいと思えます。

問 町営住宅と空き家対策の国の補助金の大きな相違点は何でしょうか。

答 町長 町営住宅は、健康で文化的な生活を営むに足りるよう、低所得者に対し低廉な家賃で賃貸するものです。他方、空き家対策は居住環境の整備を通じ、安全・安心を確保することです。

問 空き家対策事業に対して、各課のアイデアを合わせて、いろいろな角度から複合的な取り組みをして、国、県に各予算を一事業にまとめて要望していく必要があると考えますか。

答 町長 担当部署だけでなく他部署の人とも結びつけて、いろいろな制度を活用するため、予算・交付金確保に力を入れているところですが、どう使っていくのかも課題となっています。

問 ポケモンGOで観光振興を

答 村井知事をお願いしたい

8月10日に東日本大震災、熊本地震で被害を受けた岩手・宮城・福島・熊本の被災4県と、ポケモンGOの運営会社である株式会社ナイアンティックが、観光振興推進における連携を発表いたしました。

問 当町も、蔵王お釜噴火騒動という風評被害により大きな影響を受けています。沿岸地域だけではなく、ポケモンGOでの観光振興を県全体の取り組みとして要望する必要があると考えますが。

答 町長 お釜周辺自治体の観光産業にまだまだに大きなダメージを残しています。これまでもあらゆる手段を講じて風評による被害の払拭を図ってきたところでもあります。来週早々にも知事をお願いしたいと考えています。



議員 要 的場



▲ポケモンGOアプリ

問 若い世代が参加できる工夫を

答 お話を直接伺える努力をしたい



▲中央コミュニティセンター

7月4日の笹谷地区から始まり、8月10日の本荒地区まで町内全ての行政区でまちづくり懇談会が開催されました。久しぶりの懇談会でしたので、多くの方に出席いただいたことと思います。

問 今回受けた質問、要望、また答弁について、今後何らかの方法で周知していく考えはあるのでしょうか。

答 町長 町のホームページに掲載するほか、質問や要望に対する回答をテーマごとに整理し、懇談会の結果概要版として10月末ごろに全戸配布したいと考えています。

問 議会懇談会も同じ状況ですが、若い世代の出席者が少ないと感じています。各種団体や町が力を入れて子育て世代や婚活世代の皆さんに参加していただける場も必要と考えますがいかがでしょうか。

答 町長 懇談会では、子育て支援に対する悩みや要望を直接伺うことができていない状況です。PTAをはじめ若い世代の各種団体の会合や研修会などにも今後は出向いて、お話を直接伺うことができるよう努力したいと思います。

問 施設建設時に気配りを

答 利用しやすい施設をめざす



石野 博之 議員



▲新設された公衆トイレ

青根温泉の駐車場に公衆トイレができませんでした。町民の方から、車いすの方は使えない高齢者の方からは手すりもないと指摘がありました。

問 当町でのバリアフリー条例制定について、町長の所信を伺います。

答 町長

町が行う公共施設の整備、改修は、国や県で定める法律や条例を参考にしています。配慮すべき対象者を障がいのある方や高齢者に限定せず、多くの方が利用しやすい施設を目指しています。改めて条例を制定することに関しては将来的な課題としたい考えです。

問 施設建設時に高齢者、障がい者団体の視察や意見聴取を実施することについて考えを伺います。

答 町長

施設の用途などを勘案した上で、必要に応じてさまざまな方から意見をいただき対応していますが。今後も障害のある方や高齢者など、配慮が必要な方も含め、できるだけ多くの方の意見を伺いたいと考えています。

問 青根は、おもてなしの観光地であり、公衆トイレも配慮や気配りが必要です。仕様や基準は満たしていても実際に車いすで利用するには改善が必要です。今後の町の対応について伺います。

答 町長

私も先日、改めて現地に行き確認してきました。たしかに使い勝手が悪いので、改良すべきだと感じています。

その他の質問事項

問 これからも差別をさせない町に

答 積極的に取り組む

問 県道拡幅の要望 その後は

答

実現に向け活動を継続

問 昨年12月会議で「県道の上石丸から赤沢山間の県道拡幅工事を要望せよ」と質問しましたが、町長は早急に要望すると答弁しました。その後の経緯を伺います。

答 町長

県の担当課と事務レベルで打ち合わせを行っています。県知事が出席する県南サミットでも整備要望を提示する予定です。今後も事業化の実現に向けて要望活動を続けます。

問 迂回路としては最適です。5か所の狭い橋、狭い車道でありながら側溝があり、対向車が来ると大変危険です。何度でも県に要望しなくてはならないと思います。

答 町長

そのようなかたちで進めていきます。



佐藤 新一郎 議員



▲狭い橋、狭い道

問 名誉町民選考基準は

答 委員会を設置し検討

問 教育、文化、芸能、スポーツ等で当町在住者、もしくは出身者において、町内外で活躍している人材がいると思います。名誉町民などの選考については第三者機関を立ち上げて推薦すべきと思いますが、見解を尋ねます。

答 町長

実施している町村もありませんので、名誉町民等を推薦する場合は委員会を設置し検討します。

問 全国的に名が知られている人もいます。町民が郷土の誇りとして尊敬する人がいると思われれます。町民栄誉賞や特別賞を条例化する考えはありますか。

答 町長

条例化するかどうかは別として、柔軟性のあるものを考えさせていただきます。



とみた ひろしげ 氏
名誉町民推挙第1号



さとう さのすけ 氏
名誉町民推挙第3号



たんの たんじ 氏
名誉町民推挙第2号

問

18歳までの医療費助成拡充を

答

長期的な財政状況から総合的に検討



高橋 義則 議員

貧困と格差が問題となるなか、子どもが医療機関にかかれる制度の拡充が急がれるときはありません。それでは伺います。

問 平成29年度から、子ども医療助成費で県の助成対象上限を3歳未満から就学前に引き上げることを表明しました。県の対応を踏まえ18歳まで拡充すべきではないですか。

答 町長 新たな町単独財源が必要なことから、長期的な財政状況を踏まえ総合的に検討します。

問 子どもの成長する段階で、家庭の親の収入によって差をつけるべきでないので所得制限の撤廃を。

答 町長 さらになる財政的負担を伴うことから、今後財政の見地並びに事業効果を検証研究します。



▲今年の消防演習

問

子どもたちに消防演習の参加を

答

見学など今後検討

問 身近な人を助ける自助・共助が重要であることから、子どもたちに関心を深めるためにも参加を考えてみてはどうですか。

答 町長 消防演習の開催は日曜日を外せません。しかし、消防団の活動を多くの子どもの目にも触れさせたいので、今後検討します。

問

釜房湖周辺を活かした町を

答

来年はマラソン大会を計画

自然豊かな釜房湖周辺を活かして、自然を活かしたまちづくりの推進を図り、交流人口を増やすことが大切です。そのためには釜房ダム管理所や、みちのく杜の湖畔公園管理事務所等の協力なくして実現はできないと考えます。

問

釜房湖周辺ではマラソン大会をはじめ道の駅構想、パークゴルフ場の設置あるいはサイクリングロード、ウォークランニングコース等いろいろなことができません。釜房湖周辺を活かした町づくりについて町長の考えを伺います。

答

町長

釜房湖周辺一帯を活用して、さらに交流人口を増やすことは大変意義深いことですが、町が周辺道路や新たな施設を整備するには、財政的に限界があります。今ある施設を有効に活用しながら、無理のない誘客事業を計画したいと考えています。

問

民間がこれらの事業を行う場合は、町としてどのような協力体制がとれるのか伺います。

答

町長

民間が事業の実施主体となる場合には、国の機関と調整を図りながら事業の実現に向けて協力していきます。なお、来年10月にはダム湖周辺をコースの一部として、町主催のマラソン大会を立ち上げる計画で準備を進めています。

答

町長

スタートしたばかりですが、準備委員会を立ち上げ、来年の実施に向けてどのようにやったらいいのか勉強、準備、下調べをしているところです。いろいろと検討していきたいと思っています。



眞幡 善次 議員



▲この環境を活かせ



▲仮装ランナーも

問

マラソン大会は町を挙げて取り組むことが大切です。また、町単独の開催では限度がありますので、マスコミ等を大いに利用し、より多くの協賛者を募ることがマラソン大会の成功につながります。町長の考えを伺います。

その他の質問事項

問 公園に健康遊具設置を

答 改めて検討します

一般会計 補正予算 追加 6480万円

9月 会議

9月会議は、決算認定のほか条例3件、議案9件（うち人事案件2件）を審議し、全て可決しました。ここではその一部を紹介します。

■提案理由

歳入歳出予算の総額に、それぞれ6480万円を追加し、総額を54億8854万円とするものです。

- 1 **地方創生加速化交付金** 4550万円
「移住総合コンシェルジュ」「企業応援コンシェルジュ」人材育成プロジェクト事業。
- 2 **合宿所などの解体** 485万円
川崎校に設置している合宿所などの解体経費。
- 3 **マイナンバー事務** 484万円
利用事務のための運用テスト経費。
- 4 **施設の維持管理** 377万円
るぼほかわさきの、指定管理契約の解除に伴う経費。
- 5 **境界復元** 283万円
スキー場の駐車場で除雪により喪失した境界の復元経費。
- 6 **ふるさと納税** 225万円
納税が増えている状況から、今後の返礼に係る経費。



▲るぼほかわさき



▲解体予定の旧合宿所



計画と人材の
かわり

佐藤達也議員

問 地方創生加速化交付金金額4550万円ですが、今年度以降の計画と育成した方々がどのように町とかかわっていくのか伺います。

地域振興課長

答 加速化交付金は今年度はいただきませんが、来年度以降はわかりません。来年以降も推進交付金というかたちで申請をしたいと思っています。移住・定住・起業家ということとで考えています。

解体後の利用は

遠藤議員

問 柴田農林高川崎校の古い合宿所の解体費485万円計上されています。解体した後の跡地はどのように利用するのか伺います。

地域振興課長

答 現在、川崎校は、岩沼学園と並行している状況です。解体後は岩沼学園が被災地の仮設住宅の集会所等に移設し、作業ができる広い部屋のある施設を組み立て利用したいとの意向です。

条例改正

川崎病院副院長職を他の医療職からも任用できるように改正する

国保川崎病院の収益向上のため地域連携室を設置し、他の医療機関から患者の受け入れ体制を推進し、対外的な折衝等を実施する観点から、副院長を就任させて支援活動を行うものです。

副院長の職は医師からの昇格に限られていることから、ほかの医療職からも副院長に任用できるように改正するものです。



改革が求められる川崎病院



認める人数は

眞幡議員

問 病院運営改革で副院長の人数を追加するということですが、何人まで認めるのか伺います。

病院事務長

答 現在医師から1人の副院長がおりますが、国保川崎病院の地域連携室の設置に伴い対外的に折衝する観点から、ほかの医療職からも任用できるようにしたいと思えます。合わせて2人です。

特別会計 補正予算

2816万円追加



介護保険特別会計

■ 介護給付費見込額の増加、および介護給付費・地域支援事業負担金確定による返還金や介護保険システム改修費用等

川崎町教育委員会委員の任命に同意



いしがき としみ 石垣 敏美 氏(再任)

(川内3)

任期は、平成28年11月1日から平成32年10月31日までの4年間。



さとう ていじ 佐藤 貞二 氏(再任)

(碓石)

任期は、平成28年11月1日から平成31年10月31日までの3年間。

人事案件

※任期の違いは、地方教育行政の組織および運営に関する法律の改正で、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保の観点から、各教育委員は毎年1人ずつ交代することが望ましいとされたことにより調整したものです。

総務民生委員会 報告

調査日 8月4日

地域振興作物の開発支援

調査事項①

地域掘り起こしと継続的支援を

【調査結果概要】

町の主要な特産品と地域振興作物は、町独自の支援制度である「商品化促進・販路拡大事業補助金」を活用し支援をしています。

町独自の支援制度のH27年度の実績では、「川崎牛入り釜房ダムカレー」の商品開発を行いました。商品の知名度向上と誘客を図るため、事業に要する交付対象経費で、補助率90%以内で補助金による支援をしました。H28年度の実施計画は、「そば焼酎」の開発支援を予定している状況です。



▲川崎牛たっぷりのダムカレー

【委員会意見】

地域振興作物の開発は、町での地産地消を基本としながら、地域での掘り起こしが必要と考えます。また、商品化に当たっては、十分な検討と継続的な補助金支援が不可欠です。その間は、市場購入できない希少価値があるとの考え方で「ふるさと納税」の返礼品に活用するなどの対応を提案します。

既存の主要な特産品の販売促進向上を目的に、購入するお客さまとそれを受け取る方の立場に立った対策を整えてください。

調査事項②

自主防災組織の現状と課題

未組織は設置に向け対応せよ

【調査結果概要】

住民の善意と自主性に基づく活動の認識が重要である自主防災組織は、町内9地区で組織化されています。自主防災組織への町支援

は、緊急時避難運営での必要物品の貸与および避難訓練の活動をサポートしています。

東日本大震災を教訓に、通信・情報手段の確保として特設公衆電話、防災無線整備、エ

リアメールなどの活用の取り組みを行っています。今後の課題として、多様な情報手段の構築や食糧などの備蓄、組織の育成があげられます。



▲自主防災組織の研修

【委員会意見】

災害の有無の確認に行われるパトロールは、各課の担当分ではなく地区ごとに確認するなど、効率的に実施をするよう要望します。また、避難勧告などの広報車による周知は、近年の住宅遮音性能向上や大雨による音での遮断を考慮した新たな知

方法を考えてください。災害時の初期対応として大変重要な自主防災組織は、町地区などの大きな世帯単位では設立が難しいと考えられています。今後未組織の地域は設置に向け対応を進め、既設組織は訓練実施などを支援してください。

産業建設教育委員会 報告

調査日 8月2日

調査事項①

有害鳥獣対策処理施設の調査

早期に処分体制の確立を

【調査結果概要】

イノシシ・サル・クマなどによる農作物被害が深刻な状況となっており、有害鳥獣対策が急務となっています。

町では緊急捕獲活動への支援や進入防止柵への助成を進めながら、駆除と防除の両面から被害対策に努めている現状です。

また、捕獲した有害鳥獣の処理は埋設している状況にあり、解体は捕獲隊の家屋などで行われています。

仙南地域広域行政事務組合では、捕獲した有害鳥獣を組合施設で

焼却処理する場合、イノシシのような大型動物を個体の状態で焼却

することは、焼却施設の構造上不可能であるため、解体・細断しブロック化されたものを受け入れの条件としています。それゆえ解体する場所の問題や捕獲隊の負担が大きいため、白石市と蔵王町において有害鳥獣解体場を建設し、環境整備を図っています。



▲蔵王町の解体場



▲白石市の解体場

【委員会意見】

当委員会では、両市町で設置されている有害鳥獣解体場を視察し調査を行いました。両施設とも有害鳥獣解体場の整備により、埋設場所不足や環境問題の解消、および処理作業の迅速化と軽減化が図られ、捕獲者の意欲増進につながっていることが伺えました。

当町においては、主に埋設しているのが現状ですが、埋設する場所にも限度があり、かつ捕獲隊員の高齢化が進んでいるので労力も大きな負担となっています。

処分体制の確立を図る上でも有害鳥獣解体場の整備または委託は、捕獲隊の負担軽減、並びに環境への配慮および被害の抑制に向けて有効な対策の一つであると考えますので、捕獲隊とも協議しながら十分検討されることを要望します。

研修レポート

議会広聴・広報委員会



親しみのある 読んでもらえる 広報を目指して

9月20日、福島県南
会津町議会広報委員会
を視察研修しました。

各委員から議長あて
に報告書が提出されて
いますので、その一部
を紹介します。

文を短く、余白・写真を

効果的に

議会広聴・広報委員会委員 佐藤 昭光

南会津町議会広報
は「です・ます」調で、
文を短くし、余白を生
かし、写真を使って、
読みやすく、見栄えの
する紙面づくりを心掛
けていて、かわさき議
会の情報と狙いは同じ
だと感じました。

一般質問では、質問
者が第一質問で通告し
た中から600字以内
に要約し、見出しも自
ら決めて掲載している
点が目を引きました。
「関連する質問はあら
かじめ通告すべき」と
いう趣旨だそうです。が
質疑応答の中から、予
定しないながらも、掲
載すべき内容が生まれ

ることもあるのでは、
と少し疑問に思いまし
た。このほかでは、編
集ソフトを使い、手間
ひまを省く工夫をして
いることが伺えました。



編集力を高める努力を

議会広聴・広報委員会委員 大沼 大名

以前は、特別委員会
として議会広報編集を
していたが、議会だよ
りの内容を強化するた
め、常任委員会として
広報委員会を設置し活
動。編集専用ソフトを
使い、委員会を3回開
催、発行するようにし

ているとのこと。面積が広く、取材す
るために移動するだけ
でも半日かかるため、
各委員の役割分担を決
め、委員会を効率的に
開催しているというこ
とです。

「町の広報は見ても、
議会だよりは見ない」と
いう悩みが議会とし
てあったとのこと。町
民の声をどう反映させ
た紙面づくりをしたら
よいか、悩みもあると
いうことです。特に3
回の委員会開催で編集
を完了するためには、
委員としての自分自身
の編集力量を、今後高
める努力が必要と感じ
ました。

今から なじよする?

「心地よさい」



おおもり ひでとし
大森 英俊さん
(裏丁下)

サバーイ(注1) D A Y・アゲイン。昔、夫婦でやったイベントのことです。なぜ、このイベントをやることになったのか。あれから20年ちよつと。経済格差、気候変動、自然災害、次の世代にとって大変な時代になっています。結婚する前に、いろいろなどところを研修したときに出会った人から偶然教えられた生活術、パーマカルチャー(注2)。今も私たちの生活指針になっていますが、これを毎日の生活に活かしていくには

どうすればいいか。自分たちだけで実践していけば済むことなのですが、これの大きな核に空間づくりと人間関係づくりがあります。同じ思いで生活していく仲間づくり。そのキツカケに何かできないかと考えたときに浮かんだのがこのイベントだったのです。

改めてこんな時代に即したものとして、これを知ってほしい。そのためにも、ぜひサバーイ D A Y をもう一度やってみたいものです。

※注1・サバーイ
タイ語で心地よいということ。

※注2・パーマカルチャー
ビル・モリソンがまとめた、人間と自然が末長く生活していくための知恵の集大成。

笑顔「笑ってますか」



さとう みき
佐藤 美紀さん
(川内1)

人の笑顔って本当に相手の心を和ませてくれます。また、自分が笑顔になることで心にゆとりもできてきます。私が初めて職に就いたとき、何もかも不安の毎日でした。しかし、そのときあるおじいちゃんに「人生100ならば、8×8ハッハ

|| 64、4×9シクシク || 36、64+36 || 100。100まで生きてるかわからないけれど、笑って生きてる人生の方が楽しいよ。」って言われたことがあります。笑顔のある場所には必ず「人」がいます。だから、笑顔いっぱい

の子どものまわりには常に「人」がいるのかもしれません。その子どもたちの「笑顔」を絶やさないようにしたいものです。

これから、人の集まる川崎町にするためにも、一人ひとり何ができるか考え、笑顔のあふれる川崎町にしていきたいですね。



▲心を和ませてくれる絵本

町民の方々の、町や議会に対する ご意見ご要望大募集!!



こども園運動会

撮影 コラボレーター 藤原 義信氏

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月6日(火)
一般質問は12月7日(水)・8日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は9月会議 18人、ライブ中継は
156アクセスでした。)

詳しくは、**TEL (0224) 84-2111**
議会事務局まで (内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



表紙の説明「走れ!かわさきっ子」

「川崎館山バッファローズ30周年記念大会」にて

撮影 コラボレーター 藤原義信氏



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷